

啓北商業高等学校学校評議員会便り

令和3年
9月30日
発行

令和3年度市立札幌啓北商業高等学校 学校評議員のご紹介 (五十音順)

啓北商業高等学校同窓会会長	池田 一夫 様
「軟石や」代表	小原 恵 様 (欠席)
啓北商業高等学校PTA会長	廻川 光一 様
札幌大学特命教授 (本校前校長)	鈴木 恵一 様
南区石山まちづくりセンター所長	吉山 直子 様
啓北商業高等学校 堀野校長、野口教頭、坪井事務長	以上8名



去る7月17日(土)本校校長室にて「第1回学校評議員会」が開催され、学校評議員の皆様よりご意見・ご助言をいただきました。

会議内容 ～要旨抜粋～

1 学校長挨拶

新型コロナウイルスの影響で学級閉鎖があったものの、感染が拡がらずに教育活動を進めていること、生徒たちが感染に対して注意を払い、そして先生方が生徒のことを思いながら、前に進んでいる本校の概要を説明しました。

2 本校の概要説明

(1) 学校運営について

<野口教頭>

現在、「GIGA スクール※1委員会」において、来年度の1年生から導入される1人1台タブレット端末を用いた授業実施にむけての取り組みを話し合っています。

※1 G I G Aスクール構想

児童生徒1人1台端末と、学校における高速大容量のネットワーク環境等を一体的に整備することにより、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現することを目的とした取組。

<堀野校長>

今年度「生活指導部」が「生活指導・支援部」となり、生徒の様々な教育相談や生徒支援を行っています。また、生徒支援委員会といじめ防止等について今年は積極的に行っています。

(2) スクールミッション※2の再定義とスクールポリシー※3の制定について

<野口教頭>

スクールミッションについて、本校では学校改革検討委員会が提案していくことになりました。「商業高校の学び」を軸として、3つのポイントである「札幌市の学びの方向性」、「現状やこれまでの取組を踏まえた本校の学びの方向性」、「生徒・保護者・地域の意向」と過去の学校評議員会での意見等も踏まえていくことになりました。最終的に「札幌の未来を拓く人」を本校のスクールミッションとして、3つの柱をたてました。1つ目は「商業高校の学びをとおり、マネジメント能力を身に付け、多様な社会

を生き抜くための新たな価値を創造出来る。」2つ目は「学習や学校行事、部活動などに主体的・積極的に取り組み、課題を探究しながら仲間と共に歩み成長できること。」3つ目として、「ふるさと札幌の様々な地域資源を活用し、持続可能な地域社会の発展に貢献できること」です。

スクールポリシーは、3つのポリシーを定めることになっています。

- ① グラジュエーションポリシー：目指す資質能力に関する方針
- ② カリキュラムポリシー：教育課程編成および実施に関する方針
- ③ アドミッションポリシー：入学者の受け入れに関する方針

これらを言語化することを審議しています。

※2 スクールミッション

3つのスクールポリシーを策定する前提として、高等学校が期待されている社会的役割等のこと。

※3 スクールポリシー

教育活動の指針となる上記①～③の方針のこと。

(3) 80周年記念事業について

<野口教頭>

今年度は学校祭も含めて80周年を意識しながら、1年を送っています。事業予定として、記念誌の作製、記念品進呈、学校行事には必ず「80周年記念」と冠を付ける等、既に玄関前には横断幕を付けています。

(4) 生徒の現状

<野口教頭>

本校でも市教委通知を受け、新型コロナ感染リスク軽減対策として登校時刻を30分繰り下げました。これは単に登校時刻を遅らせるということではなく、9時5分までの間で最も空いている時間を各自見つけて登校するものです。また、下校時の感染リスクを軽減するために5分、10分短縮の授業を行ってまいりました。感染対策を考えるということで、校長が4月に「今できることは何かということを考えましょう。」と生徒に投げかけ、生徒会を中心にその中でも楽しめる努力ということで今回の学校祭を実施しています。

<堀野校長>

先日、学校祭の開祭式がグラウンドで行われましたが、「挨拶というよりも嬉しいです。みんなが変われば学校も変わるから。感染症対策を十分に行って、やってよかったと思える学校祭をみなさんで完成させてください。」と、生徒に伝えました。生徒会指導部の先生方も毎日遅くまで残り、生徒たちと一緒に何をやったら感染を防げるか考えてくれました。例えば、学校祭の昼食では、シールを使って誰がいつどこで昼食をとっていたか把握し、ステージ発表は学年ごとに分けて、座って手拍子だけで応援する、ダンスも声を出さない等、徹底しながら行っています。昨日のステージ発表は学年ごとに行い、録画したものを、今日体育館で見ることが出来るようにしています。生徒は感染対策のルールをしっかり守ってくれています。

(5) 部活動の現状について

<野口教頭>

部活動については、コロナウイルス対策のため制限がある中で優秀な成績をおさめた部があります。女子バレーボール部、陸上部、水泳が全道大会への出場権を獲得、演劇部は3月に、簿記部もこの度全国大会に出場しています。

<堀野校長>

他の学校や私立は部活をやっているという声が職員からありましたが、感染者が出てしまっただけでは生徒、先生方を守れないので、教頭と一緒に「ルールや制限を守ってください。」ということを理解してもらいました。その中でバレーボール部等が大会に出ましたが、不本意な結果になってしまったことは否めないと思います。でも、参加できた事が素晴らしいこと思ってくれればと感じています。

3 各評議員から

<吉山様>

石山大学※4では、農業・歴史・記念誌作製の活動を行っています。農業は、カブ、ラディッシュ、さつまいも、ジャガイモ等を作っています。8月から朝市を行うことが決まりました。他には、今年も石山大橋周辺で酪農学園大学と札幌市ヒグマ対策関係の方々がいらして、草刈を行うことになりました。例年、石山夏祭りでは啓北商業高校吹奏楽部の演奏を楽しみにしていたのですが、今年も祭りが無くなってしまい、残念な感じがあります。お互いの協力のもと、石山大学の学生も様々なことで協力できると思います。

※4 石山大学

南区石山まちづくりセンターが運営する65歳からの学びの場、男子のための学校。(フェイスブックより転載)

<池田様>

高校生活3年間の中で学校祭は思い出に残る行事ですので、今年開催出来てホッとしています。社会に開かれた教育課程の実現や、カリキュラムにおけるマネジメント資源、これらがスクールミッション、スクールポリシーに含まれるということで、良い指導要領だと思いますが、消費者教育や市民教育は含まれていますか？

<堀野校長>

スクールミッションにおける様々な地域資源の中には、地域の施設だけでなく人材も含めています。

<鈴木前校長>

(1) スクールミッションとスクールポリシー

ミッションやポリシーという言葉は、馴染みのない言葉だと感じます。ホームページや外部に説明する時は、市民・町民の方々に理解してもらえる言葉にしないといけない。地域の方々と今後連携していくならば、「言葉合せ」は重要だと思います。

(2) 札幌軟石による地域連携

実はこの校舎の地層も軟石であり、その上で我々は生活している。軟石が北海道遺産になり、素晴らしい財産を持っていながら、なかなか外に大きく広がっていかない。成分分析を教科横断型で行い、もっと身近なものとして考え、生徒たちの研究成果や商品開発したものをポスト館に展示したり、まちづくりセンターで開く「校外店」に使わせていただいてもいいと思います。地域の方との関りをさらに深めてほしい。

(3) 防災訓練

もしも災害が起き、学校が避難所となった場合、食料の備蓄、物資の調達をどうすればいいか、色々なことを学校なりの立場で勉強しながら生徒達に考えてもらう。体育館を避難所にして段ボールなどを使って寝てみる等そんな体験をしてみる。避難所生活は経験が無いまま、大変な思いをして、うつになってしまう方もいます。リアルな皮膚感覚として一度「体育館で寝てみるってこういうことだ。」

と、子どもたちに経験させたいと考えていました。

<廻川会長>

今まであたりまえに出来ていたことが出来ない中、子どもが様々な行動を示していくことが親として非常に子供の成長を感じました。「本当は出来るのではないか、コロナという言葉を使ってやっていないことがあるのでは。」と思います。生徒同士、他校と情報共有は無いでしょうか。他校での様々な感染症対策において良い例があるのに子どもたちが知らないまま終わっているのではないのでしょうか。

4 学校長挨拶

<堀野校長>

生徒と地域との関わり、地域と共に生きていくのが学校だと思います。地域から離れているのは学校ではありません。防災訓練や石山軟石を使った地域連携、ポスト館の小原様を仲立ちとしたような商店街との連携・繋がりは本校の要だと思います。

他校との交流は、毎年12月に札幌市立高校全部の生徒会が一堂に会し、生徒会リーダー交流会が予定されています。コロナウイルス対策のため去年はZoom開催でしたが、各校の現状報告、お互いの学校の情報を交換し、今後の生徒会活動に活かしています。「コロナだからやらない。」、これを隠れ蓑にしてはいけない。教育活動を止めずに、何が出来るのか、どうすれば出来るのかを考えることが我々大人にとって必要です。

以上が令和3年度第1回学校評議員会の報告になります。